

## 平成27年度第2回宇都宮市民大学運営協議会

日 時 平成27年8月4日（火）  
午前10時30分～  
会 場 人材かがやきセンター研修室  
（中央生涯学習センター5階）

### 次 第

1 開 会

2 挨拶

3 議 題

（1）平成27年度宇都宮市民大学前期講座の実施状況について・・・資料1

（2）平成27年度宇都宮市民大学後期講座の実施について・・・資料2

（3）平成28年度宇都宮市民大学の実施について・・・資料3

4 その他

5 閉 会

## 宇都宮市民大学運営協議会委員名簿

任期：宇都宮市民大学運営協議会運営要領第4条の規定による期間  
(平成26年9月1日～平成28年8月31日)

No.	氏名	所属団体等役職
○ 1	あいば えつお 饗庭 悦夫	作新学院大学・作新学院大学女子短期大学部 事務局長
2	いしづか みきお 石塚 幹男	株式会社 下野新聞社 編集局総務部長
◎ 3	おかだ かずなり 岡田 一成	宇都宮共和大学 事務局長
4	かわもと きよし 川本 清	帝京大学 宇都宮キャンパス 事務長
◇ 5	こぼり きょうこ 小針 協子	とちぎボランティアNPOセンターぽぽら 主任研究員
6	しまの やすお 島野 安雄	文星芸術大学 特任教授
7	たかせ かずや 高瀬 一也	株式会社 栃木放送 報道制作局長
8	はせがわ きょうこ 長谷川 京子	宇都宮市生涯学習センター運営審議会 委員
◇ 9	ますだ としかず 増田 寿一	公益財団法人 とちぎ未来づくり財団 事務局長
10	みこがい ひさお 御子貝 久男	宇都宮市講座企画・運営ボランティアスタッフ

(五十音順)

◎ 会長      ○ 副会長      ◇ 監事

## 平成 27 年度宇都宮市民大学前期講座実施状況について

### 1 合同開講式・公開講座

平成 27 年度前期合同開講式・公開講座を下記のとおり開催した。

#### (1) 開催日時

平成 27 年 5 月 26 日 (火) 午後 2 時～午後 4 時

#### (2) 会場

宇都宮共和大学 宇都宮シティキャンパス 4 階 大講義室

#### (3) 参加者数

171 名

#### (4) 合同開講式

##### ア 実施内容

- ・ 主催者挨拶 宇都宮市教育委員会 教育長 水越 久夫  
宇都宮共和大学 学長 須賀 英之 氏
- ・ 受講者証交付 宇都宮市教育委員会教育長より受講者代表 2 名へ交付

##### イ 受講者の感想・意見

- ・ 主催者の意気込みを感じ、一生懸命やろうという気持ちになった。
- ・ 向学心に燃える多くの人に接して勇気づけられた。
- ・ 会場交通の便が良く、参加しやすい。
- ・ 飲み物の接待に感激した。
- ・ 各講座で十分である。

##### ウ 評価

受講者のアンケートでは、7 割以上が「とても意義がありよかった」「どちらかといえば意義があった」と評価している。

受講者が一堂に会する唯一の機会であることや、共催事業として宇都宮共和大学から多大なるご協力をいただいたことが、受講者の学習意欲の高揚や満足度の向上に繋がったものと考察される。

#### (5) 公開講座

##### ア 実施内容

- ・ 講師 古池 弘隆 氏  
(宇都宮共和大学 都市経済研究センター長・教授、  
宇都宮ブランド推進協議会 会長)
- ・ テーマ 「住めば愉快だ宇都宮」に向けた都市ブランド戦略
- ・ 講義内容 宇都宮市は百年先まで持続・発展していくまちとなるために、まちの魅力を高めていく「都市ブランド戦略」を推進している。この取組について、これまでの経緯や成果について紹介するとともに、今後の方策についても、ともに考えていく講座。

## イ 受講者の感想・意見

- ・ 宇都宮はいい街であることを改めて知った。
- ・ 市民としての自覚が高まった。
- ・ ブランド戦略に対する取組みが良くわかった。今後、少しでもPRしたい。
- ・ 一市民として、もっと宇都宮市のブランド化に協力しなければならないと痛感した。
- ・ もっと若い人達に聞いてもらった方が効果的では。

## ウ 評価

受講者アンケートでは、「とてもよかった」「どちらかといえばよかった」との意見が9割近くあり、非常に満足度の高い講座であった。

講義は、取組の成果に関する統計資料や、実際に活用されている愉快CMなどの動画資料を用い、非常に分かりやすいものであった。また、受講者の感想・意見からは、宇都宮に対する郷土愛の醸成が図れたものと考察される。

⇒ 別紙1参照

## 2 専門講座

平成27年度前期は6講座を開催した。

(すべての専門講座において、公開講座を第1回目として位置づけている。)

### (1) 講座数

6講座 (※公開講座を除いた回数はそれぞれ5回～7回)

### (2) 周知方法

広報うつのみや (平成27年4月号)、市ホームページ、パンフレット、チラシ

### (3) 開催期間

平成27年6月1日～7月17日 (公開講座を除く)

### (4) 募集定員等

募集定員280名、応募者数500名、受講者数329名

### (5) 講座内容

⇒ 別紙2参照

### (6) 講座の評価と課題

#### ア 各講座の評価

##### ① I 郷土を愛する地域・文化・歴史コース

Iコースについては、3講座を実施し、各講座とも定員を超える申込みがあり、修了率は85%以上であった。

「No1の足もとから宇都宮を考えよう」については、宇都宮共和大学との連携講座として実施したが、宇都宮の歴史を学び、将来について考える貴重な機会を提供することができたと考える。また、「No2の中世宇都宮氏 興亡の400年」については、市民大学の受講者に人気の高い歴史をテーマとした講座で

あることから、定員を大幅に超える申込みがあったと考察されるが、講義内容が盛りだくさんで講義時間が少し足りないという意見が見受けられた。「No3 の伝統産業の魅力を探る」については、県内の伝統産業に対する関心の高さが伺えた。特に館外学習で企画した烏山和紙漉き体験は非常に好評であった。

## ② II 今を読み解く現代社会コース

IIコースについては、「No4 の元気シニアのインターネット活用法」の1講座を実施した。インターネットに関心を持つ高齢者の増加にともない、定員に達する申込みがあったと考察される。

講義内容については、インターネット用語が難しいとの意見もあったが、タブレットの操作実習は好評であった。

## ③ III 暮らしを彩る教養コース

IIIコースについては、2講座を実施し、各講座とも定員を超える申込みがあり、修了率は80%以上であった。

「No5 の目からうろこの楽しい物理」については、物理という敬遠されがちなテーマにもかかわらず、企画内容に日常と関係した身近な話題を取り上げ、実験を多く取り入れたことで、市民の知的好奇心を刺激することに繋がったと考察される。また、「No6 の平家物語を読み解く」については、市民大学の受講者に人気の高い古典文学をテーマとした講座であることから、定員を大幅に超える申込みがあったと考察される。

## イ 総合的な評価

開設した3コース6講座のすべてについて、定員に達する又は超える申込みがあり、修了率は80%以上であった。

また、受講者アンケートに関しても、成果が「とてもあった」「わりとあった」との回答が、概ね全体の90%を占めた。(参考1参照)

これらの結果を踏まえると、各講座とも市民の知的好奇心を刺激する企画内容であったとともに、受講者にとって満足度の高い講義や講座運営ができたものと考察される。

## ウ 今後の課題

### ① 安定した応募者の確保

コース目的を踏まえた上で、企画に市民ニーズの高い歴史的要素や現代的課題などを取り入れ、市民の知的好奇心を刺激するテーマ設定や学習内容の工夫が今後とも必要である。

### ② 市民満足度の高い講義の進め方

講義の進め方については、講義内容やコマ数を踏まえ、時数に応じた内容となるよう、事前に講師との綿密な調整が必要である。

また、受講をきっかけとして、学ぶ意欲を更に高めてもらうため、娯乐的要素など楽しみながら学べる手法や場の雰囲気とを和ませる演出などについても検討していく必要がある。

## 平成 27 年度宇都宮市民大学後期講座の実施について

## 1 合同開講式

専門講座受講者を対象に、合同開講式を開催する。

ア 日時 平成 27 年 10 月 27 日 (火) 午後 2 時～午後 2 時 20 分

イ 会場 帝京大学 宇都宮キャンパス 地域経済学科棟 大講義室

## 2 公開講座

専門講座受講者及び一般市民を対象に、公開講座を開催する。

ア 日時 平成 27 年 10 月 27 日 (火) 午後 2 時 30 分～午後 4 時

イ 会場 帝京大学 宇都宮キャンパス 地域経済学科棟 大講義室

ウ 内容 演題 「肩こりはもうこりこり

～背骨の運動で肩こりをなくそう～

講師 帝京大学 医療技術学部 准教授 白石 聖 氏

## 3 専門講座

講座企画・運営ボランティアスタッフの企画による 5 講座 (No. 1～No. 3, No. 5, No. 6), 帝京大学との連携による 1 講座 (No. 4) を実施する。

ア 開催期間 平成 27 年 10 月～12 月

イ 開催回数 7 回～8 回 (公開講座 1 回を含む)

## 【後期専門講座内容】

No.	講座名	開催期間 (開催曜日・時間帯)
1	I 郷土を愛する地域・文化・歴史コース (全 7 回) 下野に咲いた仏教文化 I ～古代・中世の仏像～	11 月 5 日～12 月 10 日 (木曜日 午前)
2	II 今を読み解く現代社会コース (全 8 回) 若々しい脳で年齢を愉しみませんか	11 月 2 日～12 月 21 日 (月曜日 午前)
3	II 今を読み解く現代社会コース (全 8 回) 心豊かに「人生 90 年時代」を生きる ～笑いと笑顔で健康な暮らしを～	11 月 6 日～12 月 18 日 (金曜日 午前)
4	III 今を読み解く現代社会コース (全 8 回) 寝たきり予防に、いまから対策を ～ロコモティブシンドローム (運動器症候群) 予防～ 【帝京大学連携講座】	11 月 10 日～12 月 22 日 (火曜日 午前)
5	III 暮らしを彩る教養コース (全 8 回) 郷土が誇る美術作家たち ～“芸術の秋” 画家・彫刻家・陶芸家・工芸家 いろとりどり～	11 月 5 日～12 月 17 日 (木曜日 午後)
6	III 暮らしを彩る教養コース (全 8 回) ここまで来た 人に役立つロボット ～ロボットと拓く明日の社会～	11 月 6 日～12 月 18 日 (金曜日 午後)

※ 講座の実施会場は、人材かがやきセンター研修室 (中央生涯学習センター 5 階)

※ 各専門講座の (開講数) は、「公開講座」を 1 回分として含む

※ 午前⇒10時から12時, 午後⇒2時から4時

## 平成 28 年度宇都宮市民大学の実施について

## 1 「宇都宮市地域教育推進計画」の推進に向けたこれまでの取組み（平成 22 年度～）

年度	取 組 内 容
H22	<p>① 生涯学習コーディネーターへの一本化 地域で活躍できる人材の育成と活用促進を図るため、「生涯学習ボランティア」と「生涯学習コーディネーター」を、「生涯学習コーディネーター」として一本化し、双方ともに市民大学専門講座の企画運営に参画できるようにした。</p> <p>② 講座企画運営選考委員会の実施 選考委員に外部の学識有識者を加えるなど委員構成の見直しを実施するとともに、生涯学習コーディネーターによる専門講座の企画提案について、プレゼンテーション方式による選考会を実施することにより、企画提案に対する審査の公平性・透明性を高めた。</p>
H23	<p>① 合同開講式・公開講座の開催 新たな「学びの場」の提供とともに、「学ぶ仲間」同士のさらなる交流機会の創出を図るため、合同開講式・公開講座を開催した。</p> <p>② 専門講座コースの見直し 「うつのみや地域教育プラン」に定める地域教育の推進を図るため、人と人とのつながりに重きを置いた「コミュニケーション学コース」を追加した。</p> <p>③ 生涯学習コーディネーターの育成機会の創出 市民大学専門講座において生涯学習コーディネーターが司会進行等を行うほか、講座開始前に講師・企画者が「学習のポイント」を共通認識することで、育成した生涯学習コーディネーターのさらなるスキルアップを図ることとした。</p> <p>④ 円滑な企画運営の推進 事務局と生涯学習コーディネーターが相互に協力しながら、生涯学習コーディネーターがより自立した活動が可能となるよう役割分担を明確化した。また、講座企画者に専門講座企画運営費を助成することとし、企画者が講師との打合せや連絡調整等を円滑に実施できるようにした。</p>
H25	<p>① 生涯学習講座の再整理 「市民大学」、「生涯学習センター主催講座」、「人材かがやきセンター主催講座」について、それぞれの役割等を踏まえ、講座の再整理を行った。</p>
H26	<p>① 専門講座コースの見直し 平成 23 年度に追加したコミュニケーション学コースは、他のコースと比較し、対象範囲が限定的であるとともに、所謂「学縁づくり」が目的であることから、講座の内容ではなく、各講座の運営の中で対応していくこととし廃止とした。また、残りの 3 コースのうち 2 コースについては、各コースの対象範囲の明確化と広がり进行を考慮し一部見直しを行った。</p> <p>② 生涯学習コーディネーター制度の見直し 生涯学習コーディネーターの市民大学事業への参画促進等を図るため、生涯学習コーディネーター制度の見直しを行い、名称についても講座企画・運営ボランティアスタッフ（以下「Vスタッフ」という。）制度に変更した。</p>

## 2 平成28年度市民大学の実施について

### (1) 開催方針

市民大学事業については、近年、実施すべき講座の再整理やコースの見直しを行ったところであるが、その後も一定数の受講者が参加し、その評価も概ね良好であり、安定した事業運営が図られている。

平成28年度事業については、「第2次宇都宮市地域教育推進計画」及び「市民大学事業等の役割の再整理」を踏まえ、引き続き「生涯学習センター主催講座」、「人材かがやきセンター主催講座」との差別化を図り、これまで同様、高等教育機関との連携により高度で専門的な学習ニーズに応えるとともに、本市の生涯学習事業の中で唯一の有料講座として、心豊かに市民生活を送るための教養講座や、郷土愛を育む地域の文化・歴史講座など、市民の知的好奇心を満たし、生きがいや精神的な豊かさなど市民生活に潤いを与える学習機会の提供に重点的に取り組んでいく。

### (2) 専門講座の実施方法等

専門講座のコース設定及び講座実施数については、平成27年度同様の3コース12講座とする。

#### ① コース設定（3コース）

##### ア 郷土を愛する地域・文化・歴史コース

地域の歴史や文化、産業、自然、民俗など地域の特質から今の宇都宮を知り、今後のまちづくりに生かしていくための講座

##### イ 今を読み解く現代社会コース

社会経済環境や価値観がめまぐるしく変化する現代社会において、より賢く快適に暮らしていくため、社会の流れを読み解き、暮らしに生かしていく知恵を学ぶ講座

##### ウ 暮らしを彩る教養コース

芸術・科学のほか、先進技術や化学・物理など広範な学術的テーマを対象に豊かな人間性を培い、生活に潤いを与える教養を身に付けるための講座

#### ② 講座実施数（12講座予定）

##### ア 前期（5～7月） 6講座

・内訳 Vスタッフ企画 - 5講座、大学連携 - 1講座

##### イ 後期（10～12月） 6講座

・内訳 Vスタッフ企画 - 4講座、大学連携 - 1講座

事務局企画 - 1講座（Vスタッフの市民大学への参画促進及び人材育成のため、前年度Vスタッフ養成講座修了生の研修を兼ねる）



### ③ Vスタッフ企画講座の選考方法

#### ア 選考会の実施

選考の透明性を確保し客観的な視点から講座を選考するため、専門的な知識を有する委員による講座企画運営選考委員会を実施する。

なお、講座企画・運営ボランティアスタッフのスキルアップと、講座企画選考委員会の実施状況の周知・理解を目的として、講座企画・運営ボランティアスタッフの希望者に対して、選考委員会の傍聴及び模擬審査への参加を認める。

#### イ 企画講座の決定

講座企画運営選考委員会の選考結果を踏まえ、運営協議会において決定する。

### ④ 受講者の決定方法

#### ア 現状

- ・申込者が募集定員以内であれば、申込者全員を受講者として決定  
※講師等との調整の上、定員を増やして対応する場合あり
- ・募集定員を超えた場合は、厳正な抽選により受講者を決定

#### イ 課題

- ・抽選に漏れた申込者の救済措置

#### ウ 対応

- ・各専門講座開催前に生じたキャンセル枠を補欠候補者に提供する。  
※補欠候補者の順位は、抽選に漏れた申込者の名簿登録順（申込順）とする。  
※複数講座の申込者がすべて抽選に漏れた場合は、優先して補欠候補者とする。  
但し、優先して補欠候補者とするのは、抽選に漏れた講座のうち募集定員が最も多い1講座とする。（[参考2](#)参照）

#### 【平成26年度キャンセル実績（専門講座開催前）】

- |              |          |   |         |
|--------------|----------|---|---------|
| ・前期講座（抽選2講座） | 受講決定者90名 | ⇒ | キャンセル1名 |
|              | 受講決定者90名 | ⇒ | キャンセル7名 |
| ・後期講座（抽選2講座） | 受講決定者90名 | ⇒ | キャンセル6名 |
|              | 受講決定者90名 | ⇒ | キャンセル3名 |

#### 【平成27年度キャンセル実績】

- |              |          |   |         |
|--------------|----------|---|---------|
| ・前期講座（抽選3講座） | 受講決定者70名 | ⇒ | キャンセル2名 |
|              | 受講決定者50名 | ⇒ | キャンセル4名 |
|              | 受講決定者90名 | ⇒ | キャンセル4名 |

### (3) 合同開講式・公開講座の実施について

平成28年度についても、市内の高等教育機関との連携・協力などにより、引き続き「合同開講式・公開講座」を実施する。

- ① 合同開講式・・・専門講座受講者を対象とする。
- ② 公開講座・・・専門講座受講者及び一般市民を対象とする。

#### 【実績】

平成23年度	前期	宇都宮大学 峰キャンパス
	後期	宇都宮市立南図書館
平成24年度	前期	宇都宮共和大学 長坂キャンパス
	後期	帝京大学 宇都宮キャンパス
平成25年度	前期	宇都宮短期大学 長坂キャンパス（20周年記念講演会扱い）
	後期	宇都宮大学 峰キャンパス
平成26年度	前期	文星芸術大学
	後期	作新学院大学
平成27年度	前期	宇都宮共和大学 宇都宮シティキャンパス
	後期	帝京大学 宇都宮キャンパス（予定）

#### 【参考】平成28年度以降の担当大学一覧（予定）

	平成28年度	平成29年度
前期	宇都宮短期大学	文星芸術大学
後期	宇都宮大学	作新学院大学

### 3 今後のスケジュール（予定）

8月19日	第2回講座企画・運営ボランティアスタッフ連絡会議の開催 ・平成28年度宇都宮市民大学専門講座企画募集要項等の説明
10月上旬	宇都宮市民大学専門講座企画募集の締め切り・書類審査
11月上旬	宇都宮市民大学講座企画運営選考委員会の開催 ・プレゼンテーション審査及び企画選考
11月下旬	第3回宇都宮市民大学運営協議会の開催 ・実施企画の決定

平成 27 年度宇都宮市民大学前期合同開講式・公開講座実施報告



◇開催日時:平成27年5月26日(火) 午後2時～午後4時  
 ◇開催場所:宇都宮共和大学 宇都宮シティキャンパス 大講義室  
 ◇受講者数:171名  
 ◇アンケート回収数:118名(69%)  
 ◇出席来賓:0名  
 ◇出席主催者:14名

受講者について(全体)		区分	人数	割合
<p>(1) 年齢</p>		1 20歳未満	0	0%
		2 20代	0	0%
		3 30代	2	2%
		4 40代	0	0%
		5 50代	3	3%
		6 60代	46	39%
		7 70代	52	44%
		8 80歳以上	15	13%
		無回答	0	0%
	合計	118	100%	
<p>(2) 性別</p>		区分	人数	割合
		1 男性	64	54%
		2 女性	53	45%
		無回答	1	1%
		合計	118	100%
<p>(3) 公開講座と専門講座</p>		区分	人数	割合
		1 公開講座のみ受講	4	3%
		2 公開講座と専門講座を受講	112	95%
		無回答	2	2%
		合計	118	100%
<p>アンケート結果 合同開講式について</p>		区分	人数	割合
		1 とても意義がありよかった	34	29%
		2 どちらかといえば意義があった	53	45%
		3 どちらかといえば意義があるとはいえない	15	13%
		4 意義があるとはいえない	6	5%
		無回答	10	8%
	合計	118	100%	
<p>公開講座について</p>		区分	人数	割合
		1 とてもよかった	69	58%
		2 どちらかといえばよかった	34	29%
		3 どちらかといえばよくなかった	2	2%
		4 よくなかった	2	2%
		無回答	11	9%
	合計	118	100%	

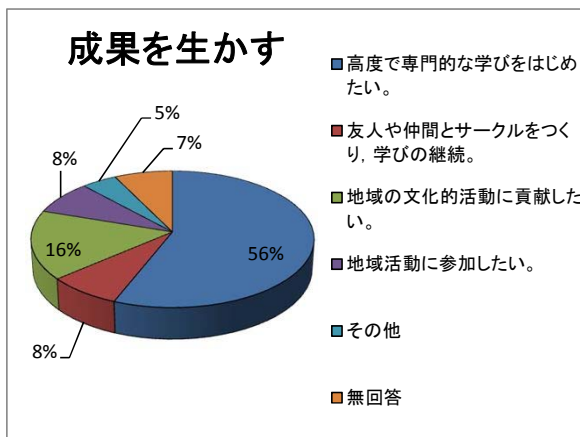
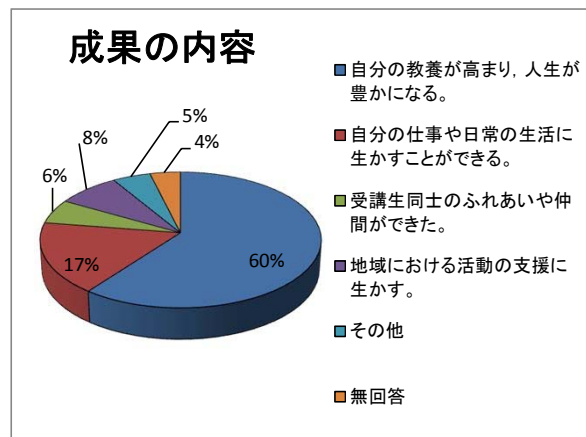
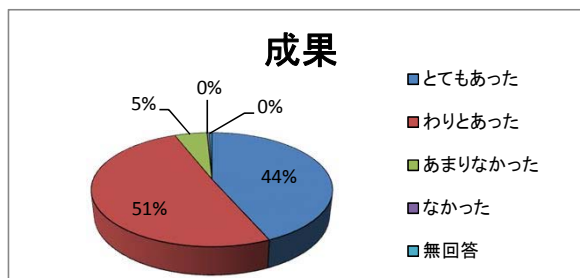
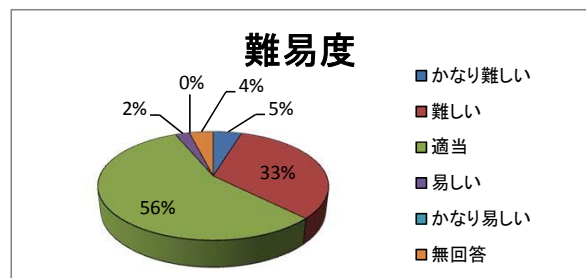
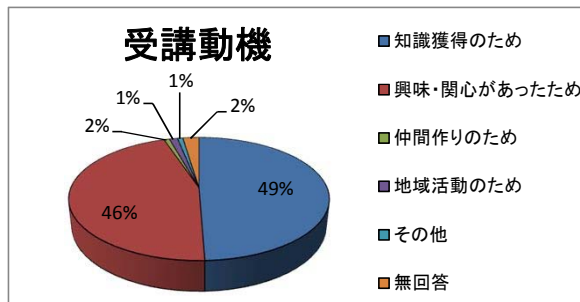
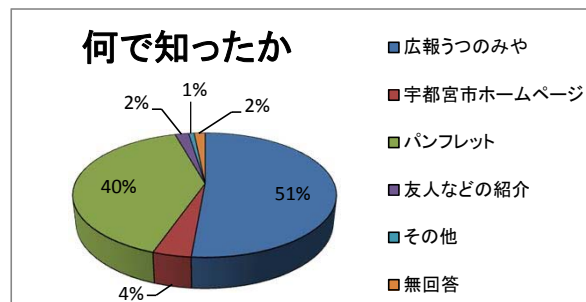
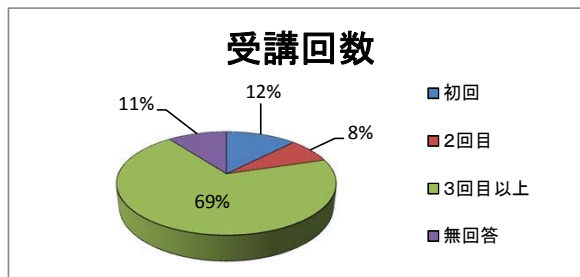
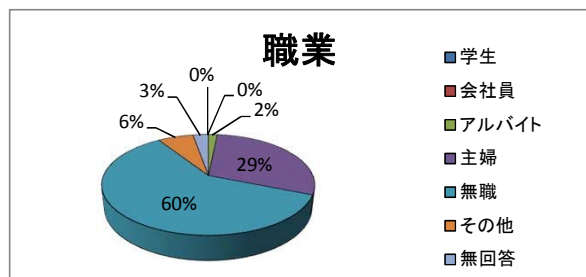
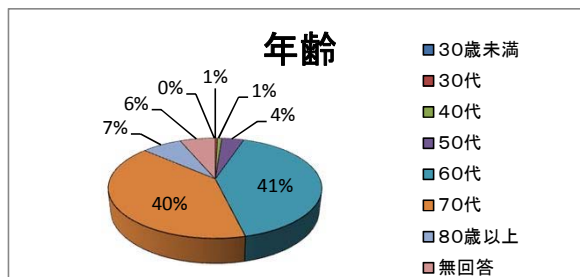
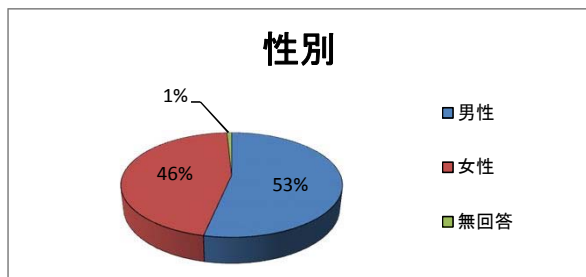
平成27年度宇都宮市民大学前期専門講座

No.	講座名 (開講数) 【講座コース】	講 師	開催 期間	(募集定員) [応募者数] 受講者数	修了者数 (修了率)
1	[宇都宮共和大学連携講座] 足もとから宇都宮を考えよう ～まちづくりの過去・現在・未来～ (全7回) 【郷土を愛する地域・文化・歴史コース】	宇都宮共和大学 シティライフ学部 学部長・教授 山島 哲夫 氏 教授 鈴木 健一 氏 教授 吉田 肇 氏 専任講師 松田 さおり 氏 都市経済研究センター 客員研究員 鈴木 智 氏 子ども生活学部 准教授 高柳 恭子 氏	6/5 ～7/10	(40) [41] 37	33 (89.2%)
2	中世宇都宮氏 興亡の400年 (全8回) 【郷土を愛する地域・文化・歴史コース】	栃木県立博物館 学芸部長 江田 郁夫 氏	6/1 ～7/13	(50) [145] 67	57 (85.1%)
3	伝統産業の魅力を探る ～今に続く匠の技～ (全7回) 【郷土を愛する地域・文化・歴史コース】	石井河岸菊池記念歴史館 館長 菊池 芳夫 氏 栃木県立博物館 主任研究員 岡本 直人 氏 宇都宮大学 教育学部 准教授 佐々木 和也 氏 ニッカウキスキー株式会社 栃木工場長 牧野 弘明 氏 宇都宮市文化財保護審議委員会 委員 柏村 祐司 氏	6/2 ～7/7	(50) [79] 45	40 (88.9%)
4	元気シニアのインターネット活用法 ～デジタル社会を賢く生き抜くために～ (全8回) 【今を読み解く現代社会コース】	宇都宮大学 工学部 教授 渡辺 裕 氏 NPO法人 栃木県シニアセンター 代表理事 荒川 恒昭 氏 株式会社ユーキャン 東京都市大学 メディア情報学部 准教授 李 洪千 氏	6/4 ～7/16	(50) [50] 43	35 (81.4%)
5	目からうるこの楽しい物理 ～日常生活の中にある物理的事象を考える～ (全8回) 【暮らしを彩る教養コース】	宇都宮大学 名誉教授 田原 博人 氏	6/5 ～7/17	(40) [60] 51	42 (82.4%)
6	『平家物語』を読み解く ～生と死の軌跡をめぐって～ (全6回) 【暮らしを彩る教養コース】	早稲田大学 名誉教授 日下 力 氏	6/2 ～6/30	(50) [125] 86	77 (89.5%)
合 計				(280) [500] 329	284 (86.3%)

※ ( ) の回数には、公開講座を含む

平成27年度宇都宮市民大学前期専門講座 アンケート結果

- 1 受講者数 329名
- 2 アンケート回答数 251名
- 3 アンケート回収率 76.3%



## 【受講者の感想・意見（アンケートより抜粋）】

### （前期専門講座① 足もとから宇都宮を考えよう） ※宇都宮共和大学連携講座

- ・ 知らなかったこともあり興味が持てた。
- ・ 昔の宇都宮が分かってよかった。
- ・ 座学のみでなく、現地教育等を取り入れていただくと変化があつてよい。
- ・ 受講するだけでなく、1回くらい全員（グループ）で雑談をする時間を設けて欲しかった。

### （前期専門講座② 中世宇都宮氏 興亡の400年）

- ・ 古文書に基づく講義が大変よかった。
- ・ 宇都宮氏の体系的なお話で、郷土の名家の興亡を知ることができてよかった。
- ・ 資料が詳細で役立った。読み難く大変だが、学び甲斐があった。
- ・ 少し詰め込み過ぎの感じがした。関係性が多岐に渡り、初心者が理解するのに苦労した。また、資料が乱雑、レジュメに沿って順序良く並べてあると良かった。

### （前期専門講座③ 伝統産業の魅力を探る）

- ・ 各種伝統産業について興味が広がった。企画が素晴らしい。
- ・ 地域の伝統産業について、詳しく知らなかったことを学ぶことができて、とても勉強になった。
- ・ 館外学習の紙すき体験は、栃木の伝統産業を肌で感じる事ができて、勉強になった。
- ・ 講座内容と事前テーマにギャップがあったが、内容的には満足。

### （前期専門講座④ 元気シニアのインターネット活用法）

- ・ タブレットの活用を考えていたので、各講義は参考になった。
- ・ タブレットによる実習が良かった。
- ・ 講師によって、内容（言いたいこと）がよく分からない時があった。
- ・ スマホの使い方など詳細を知りたかった。

### （前期専門講座⑤ 目からうろこの楽しい物理）

- ・ 難しいことをやさしく、やさしいことを面白く教えてもらい楽しかった。教材を多数作ってしてくれる先生に敬意と感謝。
- ・ 実験は楽しかったが、公式は難しくほとんどダメでした。
- ・ 講義の構成上、質疑応答の時間があれば良かった。全体として有意義な講座であった。

### （前期専門講座⑥ 『平家物語』を読み解く）

- ・ 物語がより深く理解できた。
- ・ 物語を一つのテーマで読み解く楽しさを学んだ。
- ・ 物語として楽しむだけでなく、当時の世相や歴史事象などを踏まえて、より真実をしることの楽しさを知った。
- ・ 講義のテンポが速く、もう少し時間をかけて欲しかった。

## 中核市調査（受講者決定）

- 1 調査期間 平成27年6月22日～30日
- 2 調査方法 電話による聞き取り
- 3 調査対象 中核市 44市（宇都宮市を除く）
- 4 調査結果
  - (1) 市民大学事業の有無（地方自治体が開設、もしくは事務局となるもの）
    - ① 有 29市
    - ② 無 15市
  
  - (2) 募集定員を超えた場合の決定方法
    - ① 抽選 16市
    - ② 申込順 8市
    - ③ 抽選又は申込順 2市
    - ④ その他（全員受入れ） 3市
  
  - (補足)
    - ・ 定員枠を増やす場合あり 7市
    - ・ 初めての申込者を優先 1市
    - ・ 前回、同じ講座の抽選の漏れた方を優先 1市
    - ・ 昨年度、受講していない方を優先 1市
  
  - (3) 抽選に漏れた場合の救済措置
    - ① 他の講座を紹介（別の大学講座を含む） 3市
    - ② 抽選に漏れた人が多い場合は、次年度同じ講座を開催 1市
    - ③ 補欠枠あり（キャンセル待ちを含む） 3市
    - ④ 次年度講座の申込みで優先 1市